

コハクチョウ（13羽）の初飛来が10月8日に確認されました。
例年（9日飛来）より1日早く、昨年（7日飛来）より1日遅い飛来
でした。

Vol.161

令和5年度11月号

体験活動紹介

地元の小中学校などを対象に体験活動を行いました。すがすがしい風の中、カラスガイや魚類の生息状況を確認、赤トンボの採集などにチャレンジしました。地元に住んでいてもなかなか体験できない水辺での活動に、子どもたちは歓声をあげていました。

9月20日栗原南中：沼歩き、植栽



沼で定置網を上げました



カキツバタの植栽をしました



10月5日築館小：沼歩き



沼の生き物探しに夢中です



カラスガイをいっぱい見つけました



10月19日志波姫小：昆虫採集、沼歩き



昆虫採集では名前まで確認します



沼の生き物探しに夢中です





10月14日に宮城県に工場を持つトヨタ自動車東日本(株)様による環境保全活動が今年も行われました。

今年の活動は、昨年に引き続き伊豆沼・内沼の環境保全のためのエコトーン造成で使用する木柵の製造をお願いしました。

参加者の中には、昨年も参加された方が何人かおられ、作業分担も早々に決定、木柵の組立て作業が始まり、次々に完成品が出来上がっていました。

秋晴れの中、額に汗して取り組んでいただきありがとうございました。



完成した木柵



型枠にセットされたパーツ

沼の生態系の構造を分析中

沼の生態系は、植物プランクトンや動物プランクトンから魚類や鳥類までさまざまな生物種が複雑に絡み合って構成されています。

今回、東京大学の多部田教授と共同で、沼の生態系の構造を分析する研究に取り組んでいます。

分析には数十個のプランクトンが必要で、9月はプランクトンのサンプリングにチャレンジ。その専用のネットを何度も引いてプランクトンを捕まえました。今後の分析が楽しみです。



○印:ケンミジンコ的一种



矢印:ユスリカ的一种の幼生

伊豆沼・内沼生き物図鑑

～ セイタカアワダチソウ ～

セイタカアワダチソウは、明治時代に北アメリカから観賞用に移入された外来種です。高度経済成長期に分布を広げたため、現在では日本各地の野原でその黄色い花を見ることができます。旺盛な繁殖力を持ち、在来種、特に絶滅危惧種の減少要因となることがあるため、「日本の侵略的外来種ワースト100」に選出され、駆除の対象となることもある植物です。

第33回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテストの【開催要項】を当財団のホームページに掲載しました。

